



北里大学同窓会
栃木県支部
ニュースNo.29 (2019年5月1日)
公開講演会のお知らせ

支部公開講演会と懇親会のお知らせ

北里大学同窓会栃木県支部支部長 滝 龍雄
2003年に北里大学獣医学部を卒業された東京猫医療センター院長服部 幸先生の公開講演会を下野新聞社、北里大学同窓会の後援を得て開催します。講演会の後、懇親会を開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

支部公開講演会

開催日時：2019年7月7日（日）
16：00～17：00（受付開始15：30～）
会場 ホテルニューイタヤ（宇都宮市大通り2-4-6）
入場 無料 支部会員は5月1日から申込み受付開始
定員 100名 申込み先着順

支部懇親会

開始予定時間 午後5時30分より
会場 ホテルニューイタヤ（宇都宮市大通り2-4-6）
参加費 会員5,000円
40歳未満、70歳以上の会員は3,000円
（当日、受付で徴収します）



講演会及び懇親会の参加申込みは、同封の返信ハガキに必要事項を記入し、5月中にご投函下さい。

北里大学同窓会栃木県支部公開講演会 後援：下野新聞社、北里大学同窓会

「ぼくはネコのお医者さん」

服部 幸先生（東京猫医療センター院長）



（東京猫医療センター院長 服部 幸先生）

服部 幸先生略歴

- 1979年 愛知県生まれ
- 2003年 北里大学獣医学部獣医学科卒業
- 2003年 一般の動物病院勤務
- 2006年 アメリカのネコ専門病院で研修
- 2012年 東京猫医療センターを開院
- 2014年 国際猫医学会から「キャット・フレンドリー・クリニック」のゴールドレベルに認定

所属学会

- JFSM(日本ねこ医学会) CFC 理事
- ISFM(International Society of Feline Medicine (国際猫医学会))

東京猫医療センターの紹介

2012年4月1日に誕生しました。

猫ちゃんの健康と幸せを第一に考えた病院を目指し、病院そのものがストレスになってしまわないような病院を作りたい・そんな強い思いからスタートしました。

猫と犬は同じように見えて違う生き物です。なりやすい病気や体の作りも全く異なります。「動物病院として猫に特化する事で、猫の専門医療を提供する。」これが『東京猫医療センター』のコンセプトです。

アジアで2番目に ISFM 「キャット・フレンドリー・クリニック」のゴールドレベルに認定されました。



講演要旨

皆さんは猫のことをどこまで知っていますか？
猫の体には隠された超能力とは？
猫の気持ちがわかりにくい？実はそんなことはありません。
なんで猫は暗いところでも物が見えるの？
猫が見ている世界とは？
猫はどのくらい耳が良いの？
猫の尻尾の秘密とは？
がぎ尻尾猫はどこからきたの？
ねこのきもちを●●●を見ればわかる？
本講演では猫に隠された大きな秘密を丸裸にします！
そしてもう1つ知っておきたいことは「猫は病気を隠す生き物」であるということです。猫は体調が悪くても元気なふりをします。猫を何千頭と診察していますが、大げさな猫には出会ったことがありません。逆に我慢強い猫は大勢診ました。そんな猫の体の異変に気づくためのとっておきの方法は？そんな病気を隠している猫が発する小さな SOS を見逃さないために観察するべきポイントをお伝えします。
元気だから健康？
食べてるから健康？
猫が水をたくさん飲むのは病気？
体重測定って大事なの？
猫が吐いてるんだけど様子見ても良いの？
猫の鼻血は大問題！？
こんな猫の病気のサインについて解説します。
最後に一言。猫ブーム到来！ということで猫の話題が巷に溢れています。でも猫はぬいぐるみではありません。命あるものです。そんな猫たちを最後まで責任を持って一緒に暮らして欲しい。それが私たちの願いです

服部 幸先生のご著書

猫を極める本 2018年インターズー
もっと！猫にうける 2018年ワニブックス
猫専門医が教える。こんな時どうする 2017年洋泉社
など多数



支部長 滝 龍雄

今年も、北里大学同窓会栃木県支部は「がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指し、1年を通じて取り組むチャリティ活動である」リレー・フォー・ライフ2019 in Tochigi に参加します。

今年は9月15日(土)の正午から翌16日(日)の正午までで、例年通り壬生町の壬生町総合公園陸上競技場で開催されます。栃木県では今回は第8回目の開催になりますが、栃木県支部は第一回目より参加しています。

参加いただける方の参加費は支部で負担しますので、是非多くの皆様の参加をお願いします。

学祖北里柴三郎先生に係わる 嬉しいトピックス

新1000円札の肖像に決定

栃木県支部支部長 滝 龍雄

2024年に発行される予定の新紙幣に、1,000円札は北里柴三郎、5,000円札は津田塾大学の創始者、津田梅子、1万円札は第一国立銀行や東京証券取引所など多くの企業を設立、経営した実業家、渋沢栄一の肖像画が用いられます。

皆さんもご存知の通り、北里柴三郎は1853年熊本県生まれ。86年から6年間、ドイツへ留学し、留学中の89年に破傷風菌の純粋培養に成功。更に破傷風菌の毒素を弱める「抗毒素(抗体)」を血液中から発見して、これを注射することで感染症の症状を抑える「血清療法」を切り開きました。これらの功績から「日本の細菌学の父」と呼ばれています。北里大学は1914年に北里柴三郎により創立された私立北里研究所の50周年事業として設立され、現在に至っています。北里柴三郎はドイツ留学から帰国後福沢諭吉に公私ともお世話になり、その恩返しの一環として慶大の初代医学部長・病院長を務めました。

師である福沢諭吉は既に1万円札の肖像に選ばれましたが、今回北里柴三郎が1000円札の顔になることは何かの縁を感じます。



(新1000円札の表)

以下に学校法人北里研究所の発表したステートメントを転載します。

2019年4月9日

新千円札の肖像について

学校法人 北里研究所 理事長 小林弘祐

北里大学 学長 伊藤智夫

本日2019年4月9日、新千円札の図柄に、学祖北里柴三郎の肖像が採用されたことが発表されました。

学校法人北里研究所・北里大学として、大変、名誉な事であり、また、この機会に学祖北里柴三郎の経歴と業績についての概略を述べさせていただき、国民の皆様身近に感じていただければと思います。

北里柴三郎は1853年1月29日、現在の熊本県阿蘇郡小国町に生まれ、1871年熊本医学校に入学後1874年に東京医学校(1877年に東京大学医学部に改称)に入学し、卒業後、1886年にドイツに留学しました。ドイツでは細菌学の第一人者であるベルリンのローベルト・コッホに師事し、1889年に、破傷風菌の純粋培養に成功、さらに1890年には破傷風菌毒素に対する血清療法を確立しました。帰国後の1892年、福澤諭吉先生のご援助で私立伝染病研究所を設立、1893年に我が国初の結核療養所(土筆ヶ岡養生園)を開設しました。1894年には香港で流行していたペストの原因菌であるペスト菌を発見しました。1899年に私立伝染病研究所を国に寄付し所長に就任、1914年に国立伝染病研究所を辞し、同年11月5日に私立北里研究所を創立しました。

北里柴三郎の門下生にはハブ毒の血清療法を研究した北島多一、赤痢菌を発見した志賀潔、マラリアやツツガムシ病を研究した宮島幹之助、梅毒の特効薬サルバルサンの創製に成功した秦佐八郎、黄熱病や梅毒の研究で知られている野口英世など、世界レベルの研究者を育てています。

その後、北里研究所は社団法人となり、1962年4月に創立50周年記念事業として学校法人北里学園・北里大学を開学。2008年4月に社団法人北里研究所と学校法人北里学園が統合し学校法人北里研究所・北里大学となり、学祖北里柴三郎の精神を受け継いでいます。大村智北里大学特別栄誉教授が2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞したのは、学祖北里柴三郎の学問の伝統が花開いたものと思います。

昨年、ノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑先生はノーベル賞受賞講演で、野口英世の伝記を読んで医学の道を志した事、また、免疫療法の歴史の中における、北里柴三郎の功績についても触れておられます。

北里柴三郎が現在の一万円札の肖像・福澤諭吉先生を恩

師と仰ぎ、また、現在の千円札の肖像・野口英世を育てており、何かのご縁と感じます。

今後とも、学校法人北里研究所・北里大学は、学祖北里柴三郎の精神を受け継ぎ、いのちの実学を未来につないでまいります。

支部新年会2019開催報告



釜井聡子

2月16日(土)に平成最後の新年会が開催されました。今回は自治医大が幹事とのご指名を頂き、飯島康之さん、石原寛明さん・加織さんご兄妹の4人の「チーム自治医大」で務めさせて頂きました。

30名の先輩、後輩の皆さんに出席いただき、大盛況のなか無事、会が終わりました。と思っておりますが、参加された皆様には楽しんで頂けたでしょうか?

私自身、参加者の皆さまとお話をしたり、ゲームをしたり、バタバタしているうちにあっという間に2時間が過ぎてしまい、短距離を駆け抜けた気分でした。しかし、諸先輩の皆さまといろいろお話をさせて頂いたことは、とても良い時間となりました。

「チーム自治医大」の皆さん、お疲れさまでした。連携プレー、感謝感謝です。滝先生にはいろいろご助言を頂きありがとうございました。

最後に、ご参加いただいた皆様、盛り上げて頂きありがとうございました。

栃木県支部新年会2019に参加して

石原 加織

去る2月16日午後7時より、ホテルマイステイズ宇都宮にて、栃木県支部新年会2019が開催されました。今回は、多くの方が来やすいよう、宇都宮駅の目の前のホテルを選び、同窓会員31名の方にお集まりいただきました。私自身、支部会の行事に参加するのが初めてだったため、多少の不安もありましたが、参加された皆様の温かい雰囲気になんか安心し、すぐに打ち解けることができました。

冒頭で幹事の紹介があり、その後の滝先生のお言葉で、「幹事の石原二人は夫婦ではなく、兄妹です」とあり、驚かれた方も多かったようでしたが、これがアイスブレイクとなりました。

参加者の年齢層は全体として幅広かったため、私が存じ

上げる方はほとんどいらっしゃいませんでしたが、実際話してみると、私の住んでいる地区でいつもお世話になっている方やご近所の方、職場の知り合いの方のご家族の方、私が幼少期から今までともに成長してきた幼馴染の勤務先の方など、意外と繋がりがあり、思いがけない情報交換が出来てつい盛り上がってしまいました。途中行われたビンゴゲームでは、北里ブランドの八雲牛や北里大学オリジナルのお菓子など、北里関連の景品を用意いたしました。当選された皆様、おめでとうございます。その他、目玉商品ではないものの、全員に行き渡るよう北里大学のグッズを用意し、こちらも喜んで頂きました。会場の時間も限られていたため、全員とお話しするにはとても足りないほどの時間でしたが、立派な会場でホテルのお料理もおいしく、満足していただけたかと思います。

今回、気になった点が一つだけあります。それは、ほぼ全ての学部卒業生にお集まりいただきましたが、ひと学部だけ、看護学部からの参加がなかったことです。私自身、看護師さんとお話してご教示頂きたいことが山ほどありますし、全学部集まることで、より会話も弾むかと思っておりますので、次回からのご参加をお待ちしております。

最後になりますが、今回の支部会を企画、運営して下さった皆様、特に北里大学同窓会栃木県支部長の滝先生には心より感謝申し上げます。

楽しいひと時をありがとうございました。

2010年卒業 医療検査学科 飯島康之

2019年栃木県支部新年会に世話人として参加させて頂きました。今年はホテルマイステイズ宇都宮で行いました。近況報告や福島競馬場観戦ツアー、リレー・フォー・ライブとちぎの話など歓談も大変盛り上がったことと思います。毎年恒例のビンゴ大会では、なかなかビンゴが揃う方が現れずやきもきしましたが、北里ゆかりの品を手喜んで頂けたようで一安心しました。

事前に会場準備が出来ないなか、釜井さんを中心に世話人4人で連携をとり滞りなく会を執り行うことが出来ました。また、滝先生をはじめご協力頂いた皆様にこの機会を借りてお礼申し上げます。

近況報告：子育てに奮闘中です

岩田 憲明

現在2歳10カ月の息子を育てています。体格も大きく大暴れするので小さな怪獣の様です。息子が私を噛むのにはまった時期があり大変悩みました。やめて！と言っても、笑顔で寄ってきてガブッ！まさに怪獣です。子犬をしつける際、痛いことをしたら同等の痛みを与え、いけないことなんだよと教えます。同じ要領だと思い、息子が噛みついたらつねってダメだよと言います。すると息子は反省するどころかゲラゲラを笑い、さらに噛みつきに来ます。怪獣ではなく、ゾンビだ！とってしまいました。

株で稼いだので、当時0歳の息子に約20万円する英語教材を与えてみました。子供は凄いいもので耳がよくDVDを熱中して見てすぐにAppleと言えるようになってしまいました。また、1～10まで数えるのも日本語より先に英語でできるようになりました。しかし、後から問題が起きます。日本語を教えて、「イチ」だよと言うと「違うよ！ワンだよ！」と直されてしまいます。さらに進むと、日本語の方も覚えてきて、お風呂の中で1～10を数えると「ワン、ツー、スリー、フォー、ファイブ、ロク！...」日本語と英語が混ざってしまいました。この状態で、足し算を教えるのが苦勞しました。「スリー足すロクはナイン！」これが、我が家の毎日のお風呂の光景です。そんな日々を過ごし、彼は日本語が上達してきました。すると、数字に関しても他のことに関しても、日本語と英語が混ざることが無くなってきました。最初に混ざってしまったときは困ったことになったと思いましたが、無事バイリンガルを身に付けてくれた？様です。



栃木県で動物愛護の写真コンクールがあり、金賞の副賞QUOカード1万円に目がくらみ、応募作品を撮ろうと、動物愛護指導センターに子供と出かけました。しかし、絵本や映像で見るイヌは、寄って来ませんが、実際のイヌはぐいぐい寄って来るので怖くなってしまい、なかなか触れ合えず良い写真が撮れません。色々試行錯誤の上、最後に良く撮れたのがトラとの心温まるふれ合いの写真。トラが実物だったら間違いなく金賞を受賞できた事でしょう。

支部会員近況 (新年会出欠ハガキより)

(敬称略)

藤田 朋恵 (1991MM) : 昨年4月から宇都宮市内に引っ越しました。

石原 寛明 (2012AR) : 自治医大に入職して7年目になりました。学会活動も積極的に行っており、座長から推薦を受け、今年は1本、論文を出す予定です。

田村 明美 (1984HI) : 医療関係の仕事から農業(梨園)の仕事に携わり早6年。全く関係のない仕事と思いましたが、いろいろな面で繋がりをを感じる今日この頃です。

小野崎 智子 (1986PP) : 下の息子が北里の薬学部に入学することになりました。同窓会費を納入いたしました。

(7万円、えっ?1年生から?汗…)。親子共々宜しくお願
いいたします。

無事6年で卒業してもらいたいものです。入試のつきそ
いで白金に行きましたが、当時の面影はゼロ!! 発展の一
途! 嬉しいやら寂しいやら…。

福澤 英子 (1973PP) : 新年会楽しみにしております。

村尾 光子 (1971HC) :

・昨年4月の改選で、市議会議員活動を継続することにな
りました。

・7月には議会制民主主義・福祉・女性参政権100周年を
テーマとしたイギリススタディツアーに参加

色々忙しく過ごした年でした。元気に過ごしています。

齋藤 けさよ (1988VV) : 新年会楽しみにしております。

新しい会員さんが(もちろんいつものメンバーも)たく
さん来られるとよいですね。ではでは。

岸 善明 (1973VV) : 仕事は少し続けています。たまに
出席する講習会が新鮮に感じます。

お主な活動は絵、登山、歴史研究、野菜作りです。10月
に宇都宮で個展を計画しています。

森沢 宏行 (2007MM) : 3月いっぱい自治医大を退
職し、実家のある山梨へ引っ越します。

なかなか出席できずすいませんでした。

山内 久恵 (1986VV) : 昨年もクリスマスもドイツの友
人宅で過ごしました。本場のクリスマスは何度いっても感
動的な美しさでした。又この時期は格式高い芸術(音楽)
をより身近に気軽に鑑賞でき、日本の芸術に対する考え方
との差を考えさせられました。

長谷川 恵美子 (1981PT) : 当日、東京出張のため参加
できません。

宮澤 俊輔 (2001SC) : 栃木県から長野県に異動となり
ました。1年間と短かったのですが、大変楽しかったです。

坂井 広人 (2002FF) : 2019年7月開催の「キノコと
地衣類」の企画展の準備を進めています。いつも博物館に
来てくださり、ありがとうございます。今後ともよろしく
お願い致します。

南 亜矢子 (2005VV) : 1月から仕事復帰しました。

新 悦子 (1983HI) : いつもありがとうございます。

今年こそは競馬場観戦ツアーに参加してみたいと思っ
ていたのですが、予定がつかず残念でした。

高久 太輝 (2009AC) : お便り毎度どうもありがとうご
ざいます。私は現在

島根県に引っ越し、学生をやっております。

大木 美智子 (1979PP) : 新年会に参加できず残念です
が、佐野での新年会です。60才を過ぎましたが、常勤の仕
事はしていなかったので退職らしきものはなかったのです。
ずっとやってきた学校薬剤師会や介護予防教室とボランテ
ィア活動で、相変わらずの毎日をお蔭さまで元気に過ごし
ています。又、夜の部で2月には宇都宮に行く自信があり
ません。タイヤ交換したばかりですが、いつもノーマルタ
イヤです。ごめんなさい。

荒井 京子 (1970PT) : 会の運営ありがとうございます。

姜 健 (1984MM) : 先日、競馬場観戦ツアーで妻が大変
お世話様になり有り難うございます。

秦 利憲 (2000VZ) : いつもありがとうございます。

都合が悪く出席できません。

飯野 望 (1985HH) : ご無沙汰しております。

新年会である2/16(土)が、学会と重なってしまい申し
訳ありませんが欠席とさせていただきます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

堤 礼子 (1999PP) : とうとう薬局に転職致しました。

竹澤 友紀子 (1991VV) : 昨年は高3次男お受験でバタ
バタしてやっとうとう東京へ送り出したと思ったら、今年
は中3三男のお受験で落ち着きません。早く春が来てほしい
です。

齋藤 久美子 (2003FF) : 水産学部OB・OGの近況等
がわかるとうれいす。今回の最終ページに博物館の坂
井さんが少し掲載されていてうれしかったです。

医療関係の話題、毎回すごいと思ひ読ませていただい
ています。

八代 忍 (1994MM) : 大変お世話になっております。

いつもお知らせをいただいて大変恐縮です。

申訳ありませんが、当院(大田原中央クリニック)土日
診療を行っており、いつも参加出来ずに申し訳ありません。

岡田(荒井) ゆり子 (2000AL) : 私は慶應に入職し
て早4年、毎日忙しいですがお蔭さまで元気に過ごして
おります。季節柄、ご自愛ください。

阿部 菜穂子 (1989PP) : 11/3に平成元年~3年卒の
合同同窓会に白金校舎に行きました。

30年ぶりにお会いした級友に懐かしく、楽しい一日を過
ごせました。

富永 英夫・京子 (1979PT) : 支部会ニュース、楽し
みに拝見しております。

大沼 広樹 (2011MM) : 申し訳ありませんが、次回に
は参加できればと思います。

4月に栃木に越してきてから初めて冬を過ごしました。
相模原より朝・夕の冷え込みが激しく、自転車に乗るのが
大変です。

関根 夕佳 (2014AV) いつもありがとうございます。

実家は栃木ですが、職場も県外なので申訳ありません。

小宮 翔 (2018VA) 現在、北里大学獣医学部大学院にお
ります。

滝 龍雄 (1971HH) : 今年も新潟の北里大学保健衛生専
門学院の講義のため、往復約450Kmのドライブを楽しみ
にしています。途中の景色の良い所に車を止め、良い景色
を見ながらお湯を沸かしてコーヒーを飲んだり、食事をし
たりと、楽しんでます。

数年前に大学創立50周年をお祝いしたと思ったら、今
度は医療衛生学部の創立25周年との事です。少子高齢化で
大学受験生が減る中、何とか北里大学には頑張っほしいと
思っています。

足利の歴史探訪

岸 善明

栃木県南西部に位置する足利市は古くは足利庄として栄えた歴史の町で、現在は県内第四位の人口規模、約15万人を有する市です。足利の歴史として多くの方が直ぐに思い浮かぶものは足利学校と足利尊氏です。私も同様でしたが、栃木県シルバー大学校に入学し、歴史研究会で郷土の歴史を調査、勉強する機会を持ち、足利市の歴史を探訪し、足利学校、足利氏と足利城についても調べ、私の知らなかった足利に関する歴史などを知りました。

足利学校ですがその創建年代については諸説あるようで、最古のものとしては奈良時代説もあります。歴史的に明らかになるところは、室町時代の前期に衰退していたが、1432年(永享4年)山之内上杉氏が足利の領主となって学校を再興したことです。1530年頃には火災で一時的に衰微したが、北条氏(家臣:長尾氏)の保護を得て再興し、学生数は3,000人と記録される程に盛況期を迎えました。

この頃の足利学校の様子を、キリスト教の宣教師フランシスコ・ザビエルは「日本国中最も大にして最も有名な坂東のアカデミー(坂東の大学)」と記し、足利学校は外国にまでその名が伝えられました。1590年の豊臣秀吉による小田原征伐の結果、北条氏(家臣:長尾氏)が滅び、足利学校は庇護者を失うこととなり廃校寸前となりましたが、徳川家康の保護を得て足利学校は存続されました。江戸時代に入る

と、足利学校は100石の所領を寄進され、江戸時代前期から中期に繁栄期を迎えました。しかし江戸時代後期には衰微しました。明治維新後、足利藩は足利学校を藩校とすることで復興を図りましたが、明治4年(1871年)、廃藩置県の実施により足利藩校である足利学校の管理は足利県、のちに栃木県に移り、明治5年(1872年)に至って廃校となりました。明治期以降の足利学校は建物が歴史の遺産として残り、2015年4月には日本遺産に認定されました。

足利氏は1150年に清和源氏、八幡太郎義家の4男子である源義国が足利庄に下向し興した武家のひとつ、軍事貴族です。足利尊氏は源義国から数えて8代目の足利氏の嫡流で鎌倉時代後期から南北朝時代の武将、室町幕府の初代征夷大將軍(在職:1338~1358年)、足利將軍家の祖です。足利氏、足利尊氏の末裔は室町幕府の滅亡と共に滅んだと思われがちですが、実は栃木県内の大名として存続しました。室町幕府は1349年に尊氏の二男、足利基氏を鎌倉に送り関東公方足利家とし関東の支配を任せました。この間東公方足利家はその後古河公方、小弓公方足利氏と変遷し存続しましたが、1590年の豊臣秀吉による小田原征伐の後、喜連川に3500石の領地が与えられ喜連川氏として存続しました。江戸時代には5000石の旗本交代寄合でしたが、10万石格の大名(諸侯扱い)としての格式を与えられ喜連川藩、喜連川氏として存続し明治をむかえました。明治維新後は足利姓に復し諸侯扱いであったことが考慮されて華

族(子爵)となりました。

前文で紹介した足利氏は正確には源姓足利氏です。これに対する一族として藤原姓の足利氏がおりました。この一族は藤原秀郷の子孫の藤原成行が天喜年間(1053~58年)に足利庄に入り足利氏(藤姓足利氏)を称え、その本拠地として両崖山の山頂に足利城を築城しました。藤姓足利氏は足利庄でその後入った源姓足利氏と共存し5代にわたり栄えました。藤姓足利氏は大きな一族でしたが源平合戦で平氏に味方したため平家と共に滅亡し、足利庄の全ては源姓足利氏のものになりました。藤姓足利氏が滅亡したとき、本拠であった足利城は廃城となりました。その後300年以上足利城は廃城のままでしたが、永正年間(1504~22年)に関東管領山内上杉氏の足利代官であった長尾景長が足利城を改修して長尾氏の本拠としました。長尾氏はその後上杉謙信、後に北条氏に与し、1590年の豊臣秀吉による小田原征伐の後、北条氏と共に滅び、足利城も廃墟になり現在は足利城址としてその遺構が確認されます。

先日、織姫神社の駐車場から階段を上がり織姫神社に入り、その奥に続く登山道を進み両崖山に向かいました。この道の多くは尾根道で歩きながら足利の町ばかりでなく関東平野が一望出来ます。特に城址である山頂直下からの眺望は極めて素晴らしいものでした。足利庄が一望できるこの素晴らしい景色を見ながら武者達はこの足利を治めていたわけです。両崖山の山頂には現在大きな木が茂り、神社の社と足利城址の看板があります。両崖山は標高251mの栃木100名山の一つですが登山に要する時間は往復で約2時間の手軽な山です。足利城址の探訪を兼ねて両崖山にお出かけください。靴はスニーカーでも大丈夫です。



(両崖山の山頂は神社の左の小ピークにある。)

編集後記:本支部会ニュースを編集中にビッグニュースが飛び込んできた。何と、学祖・北里柴三郎先生が2024年から1,000円札の顔となるとの事。野口英世が1,000円札の肖像に選ばれた時には、何で北里先生よりも先なのだと思ったが、世間的には野口の方が有名だったようで、今回やっと留飲下がる思いである。

今年は支部総会の無い年で、服部 幸先生の公開講演会を開催するが、その時に一緒に学祖が肖像画に選ばれたことを祝いたい。これで大村 智先生のノーベル賞生理学医学賞受賞後と同じように、北里大学の受験生が増えると嬉しい限りだ。(滝 記)